



鍾馗 | 1910頃 | 絹本着彩 | 個人蔵

【名古屋会場】

令和八年

8.18 (火) ~ 8.30 (日)

24日 (月) 休館日

10時~19時 最終日は16時 入場無料

名古屋市民ギャラリー栄

後援：名古屋市

名古屋市教育局委員会

名古屋市文化振興事業団

矢吹璋雲没後百年展

四条派から円山派への軌跡をたどる日本画の旅

【総社会場】

令和八年

9.16 (水) ~ 9.26 (土)

21日 (月・祝) 休館日

10時~17時 入場無料

総社吉備路文化館

後援：総社市・総社市教育局委員会



神功皇后 武内宿禰 応神天皇之図 | 1910頃 | 絹本着彩 | 個人蔵

矢吹瑋雲没後百年展

ペリー来航の前年（1852年）に総社市で誕生し、激動の昭和金融恐慌の年（1927年）に名古屋市で他界した日本画家の矢吹瑋雲は、令和八年に百回忌を迎えます。

それにあたり「矢吹瑋雲没後百年展」を生まれた地である総社市と、定住地であった名古屋市で開催します。瑋雲は元は雲岳という画号で、総社市在住の四条派の絵師、三好雲仙によって与えられました。雲仙が東海道面行脚に出たのを機に、同じ四条派の奥村石蘭の指導を仰ぐため名古屋市にやってきました。

ところが修行半ばに石蘭が他界してしまいます。同年、雲仙も亡くなります。二人の師匠の死を乗り越えて、次に向かうのは東京で、円山派の絵師、川端玉章の門をたたきます。今回は、その画流・系譜をたどりながら、雲岳から瑋雲へと改号した円熟期の作品と関連資料の約50点を展示いたします。



瑋雲、雲哉、瑋香め 寄合書 梅にすずめ | 1910頃 | 紙本着彩 | 個人蔵

寄合書 花鳥図 | 1910頃 | 紙本着彩 | 個人蔵



左、中央、右 画帖 開心帖 1910頃 | 紙本着彩 | 個人蔵

【総社会場】岡山県総社市上林1252

【名古屋会場】名古屋市中区栄四丁目1番8



【問い合わせ先：紫竹園】 m-yabuki@abeam.ocn.ne.jp